



現役  
試合結果

入替戦逆転勝ち、

4年連続「全種目1部」死守

平成19年度関東学生フェンシングリーグ戦(5月2日～11日、駒沢屋内球技場)で男子エペが54年ぶりに2度目の優勝。リーグ2位に終わった女子フルールは大王座決定戦(6月2日～3日、京都・大山崎町体育館)で2年ぶり3度目の優勝を果たした。男子サーブルはリーグ最下位となったものの、入替戦(6月24日、東

京農大体育館)で拓大を破り、4年連続男女6種目1部の座を堅守した。

「リーグ戦」

今年度のリーグ戦、主役は久々に男子でした。まず男子エペ。1年間のフランス留学を終えて復帰したエース坂俊甫(一文4年)を中心に、手堅い試合展開に定評のある池内祥(スポーツ3年)、進境著しい前田雄亮(政経3年)とリーグ最強のメンバー。緒戦の日本大戦で、17と大勝して波に乗り、続く専大、日大、中大、法大と一部リーグの強豪を次々に降し、見事に全勝優勝。リーグでは昭和28年、嶋田友右会員時代の初優勝以来、実に54年ぶり2度目という歴史的な快挙を達成した。フルールでもリーグでは50年ぶりに中大を破るなどして3勝2敗の3位。総合3位とAクラス入りを果たしたが、これも昭和38年、植竹清幹専長時代(2位)以来、44年ぶりの事でした。

「王座決定戦」

女子準決勝は劇的勝利でした。27-30と3点のリードを迫る早大。しかしエース松木がいきなり2本取られて27-32と5点差。「ダメか？」と一瞬ベンチもシモンとなったが、ここから「松木の奇蹟」が始まったのです。突然、開き直ったかの様に積極攻勢に転じ、しかも突けばランブが点灯するという信じられない展開。あれよあれよという間に18得点(失点は6)して45本目にたどりついたのです。続く決

女子準決勝は劇的勝利でした。27-30と3点のリードを迫る早大。しかしエース松木がいきなり2本取られて27-32と5点差。「ダメか？」と一瞬ベンチもシモンとなったが、ここから「松木の奇蹟」が始まったのです。突然、開き直ったかの様に積極攻勢に転じ、しかも突けばランブが点灯するという信じられない展開。あれよあれよという間に18得点(失点は6)して45本目にたどりついたのです。続く決

男子はエースの坂がワールド杯出場のため欠場。強豪朝日大に健闘したものの及びませんでした。(監督・川名宏美)

男子はエースの坂がワールド杯出場のため欠場。強豪朝日大に健闘したものの及びませんでした。(監督・川名宏美)



54年ぶりリーグ優勝のエペ陣  
リーグ戦を終えて記念の集合写真



5位と健闘した女子サーブル陣

関東学生リーグ戦 (5月2日～11日、駒沢屋内球技場)

結果	順位	結果	順位
男子フルール(一部)	男子サーブル(一部)	女子フルール(一部)	女子サーブル(一部)
○早大45   34中大 ●早大33   45専大 ○早大20   45法大 ○早大45   19拓大 ○早大45   37日大 ④中大⑤拓大⑥日大	○早大45   17日大 ○早大45   40日大 ○早大45   18中大 ○早大30   26専大 ○早大45   43法大 ①早大②中大③法大 ④日大⑤専大⑥日大	○早大45   19東大 ○早大44   37日大 ○早大40   34法大 ○早大25   21専大 ●早大39   45日大 ①専大②早大③日大 ④日大⑤法大⑥東大	●早大42   45専大 ○早大45   41法大 ○早大27   45中大 ●早大41   45日大 ●早大43   45専大 ①中大②法大③日大 ④日大⑤専大⑥早大

結果	順位	結果	順位
男子フルール(一部)	男子サーブル(一部)	女子フルール(一部)	女子サーブル(一部)
○早大45   34中大 ●早大33   45専大 ○早大20   45法大 ○早大45   19拓大 ○早大45   37日大 ④中大⑤拓大⑥日大	○早大45   17日大 ○早大45   40日大 ○早大45   18中大 ○早大30   26専大 ○早大45   43法大 ①早大②中大③法大 ④日大⑤専大⑥日大	○早大45   19東大 ○早大44   37日大 ○早大40   34法大 ○早大25   21専大 ●早大39   45日大 ①専大②早大③日大 ④日大⑤法大⑥東大	●早大42   45専大 ○早大45   41法大 ○早大27   45中大 ●早大41   45日大 ●早大43   45専大 ①中大②法大③日大 ④日大⑤専大⑥早大

王座決定戦 (6月2～3日、京都・大山崎町体育館)

男子エペ	女子フルール
準決勝 ○早大45   31愛工大 ●	準決勝 ○早大45   36同大 ●
決勝 ●早大38   45朝日大 ○	決勝 ○早大45   34専大 ●

入替戦 (6月24日、東京農大体育館)

男子サーブル	女子フルール
○早大45   43拓大 ●	○早大45   34専大 ●

※早大は1部残留

森、松木が

ユニバ日本代表に

2007年度ユニバアジア代表決定戦が5月3日、東京・台東区の台東リバーサイドスポーツセンターで行われ、森友紀会員(19年卒)が優勝、松木瞳(エペ4年)が2位となり、共に日本代表となった。一人は昨年のインカレ女子フルール個人戦でも1、2位を占めており、2度目のワンツー・フィニッシュ初のユニバアジア代表の座を射とめたことになり、尚、ユニバアジアード夏季大会は2007年8月8日から同18日までタイ国バンコク市で開催されます。



松木 瞳 (スポーツ4年)



森 友紀会員 (平成19年卒)

坂、日本初の

エペW杯準優勝



男子エペの日本代表選手の一員としてワールドカップ展覧中の坂俊甫(一文4年)写真ですが、5月26日、シドニー市で行われたオーストラリア国際で決勝戦に進出。ポーランドのウィディア選手に惜しくも敗れましたが、日本選手がワールド杯エペ種目で2位となったのは初の快挙です。本人は北京オリンピック出場を目標に今後も頑張りますので、会員の皆さん、応援して下さい。

新人紹介

～今年の新人の顔です～

①出身校 ②学部 ③入学方式 ④主な競技歴 ⑤入部に際しての抱負

生澤 拓磨(いげざわ たくま) 88年5月31日生

北川 宗一郎(きたがわ そういちろう) 88年6月15日生

佐藤 香(さとう かおり) 88年9月23日生

佐藤 夏樹(さとう なつき) 88年7月22日生

山口 友生(やまぐち ゆうき) 88年10月10日生

寺本 朋代(てらもと ともよ) 89年3月5日生

弘瀬 千夏(ひろせ ちなつ) 88年10月14日生

松本 徹(まつもと とおる) 88年8月13日生

山口 友生(やまぐち ゆうき) 88年10月10日生

大活躍のチビっ子軍団。前列右から二人目が優勝した松山恭助くん



WASEDA CLUB

こんにちは！  
ワセダクラブです

お蔭様で活動開始4年目に入り、40人を超す子供達が入会し、活況を呈しています。各種大会で活躍する選手も育ってきました。5月3日～4日に行われた東日本少年大会(台東リバーサイド)では小学生男子の部で松山恭助が優勝。同女子サーブルで今井良美2位、同男子の部で松山大助3位、中学生男子エペの部で藤井祥万3位と、4人も

稲光会費は現役活動を強くサポートしています